

2021年度 決算概要

2022年5月11日

沖電気工業株式会社

本日のご説明内容

- 1. 2021年度 決算概要
- 2. 2022年度 通期業績予想
- 3. 2022年度 今後の運営方針

1.2021年度 決算概要

2021年度 通期決算の概要

- 部材調達影響大きく減収、営業利益以下について下方修正。
- 将来に向けた投資と計画した構造改革は着実に実施。
- 非注力分野の資産売却実現と為替差益にも支えられ、当期利益は黒字を確保。

(単位：億円)	21年度 実績	2/7 予想	予想比	20年度 実績	前年比
売上高	3,521	3,650	△129	3,929	△408
営業利益	59	90	△31	89	△30
経常利益	77	90	△13	88	△11
(親会社株主に帰属する) 当期純利益	21	35	△14	△8	+29
USD平均レート (円)	112.4	111.8	+0.6	105.7	+6.7
EUR平均レート (円)	130.6	130.2	+0.4	123.5	+7.1

※IFRS適用している在外子会社において、SaaS（ソフトウェア・アズ・ア・サービス）の会計処理を変更したことにより、20年度実績は当該変更を反映した遡及修正後の数値としております（次ページ以降同様）

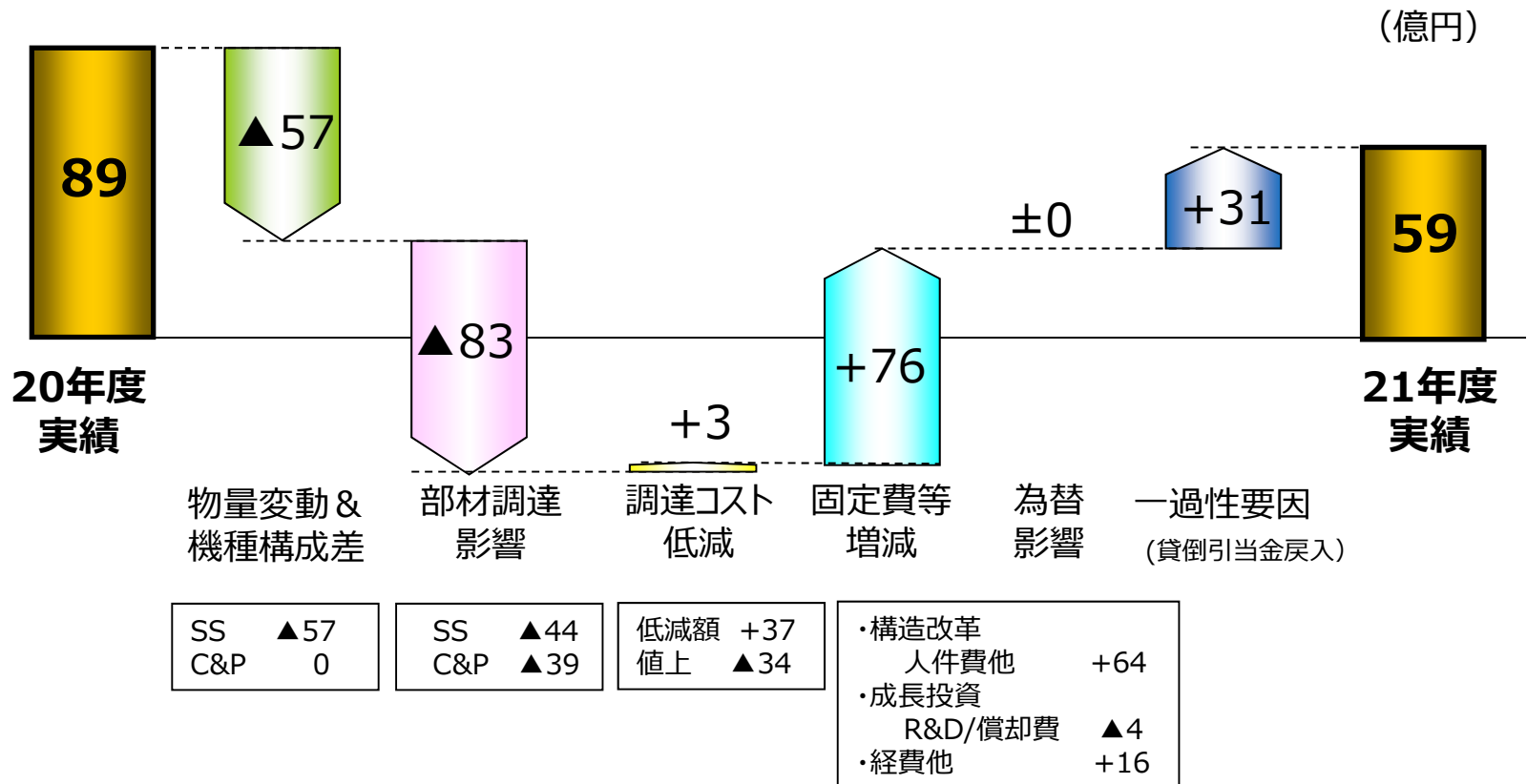
2021年度 通期セグメント別売上高/営業利益

(単位：億円)

売上高	21年度 実績	2/7 予想	予想比	20年度 実績	前年比
ソリューションシステム	1,626	1,730	△104	1,908	△282
コンポーネント&プラットフォーム	1,890	1,915	△25	2,015	△125
その他	4	5	△1	6	△2
合計	3,521	3,650	△129	3,929	△408
営業利益	21年度 実績	2/7 予想	予想比	20年度 実績	前年比
ソリューションシステム	95	125	△30	163	△68
コンポーネント&プラットフォーム	35	35	±0	△10	+45
その他	3	0	+3	△1	+4
消去・本社費	△75	△70	△5	△64	△11
合計	59	90	△31	89	△30

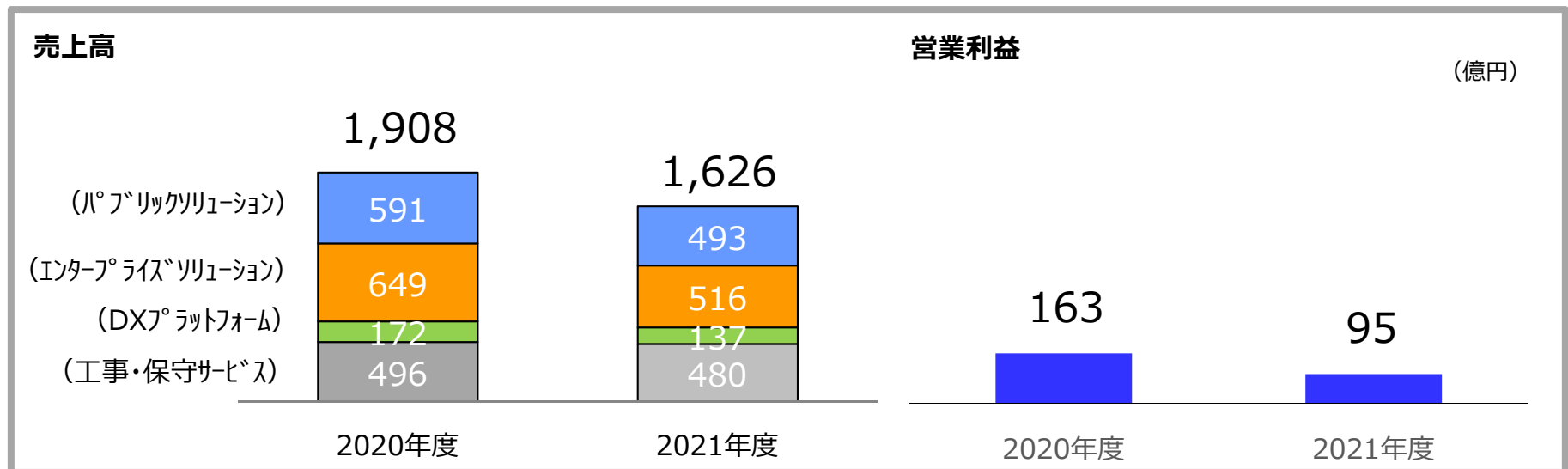
2021年度 営業利益の変動要因

- FA／半導体製造装置向売上は好調を維持、ソリューションシステムの減収により物量変動全体ではマイナス。
- 部材調達影響は想定より拡大。
- 構造改革、グループ共通費削減および経費抑制により固定費は改善。



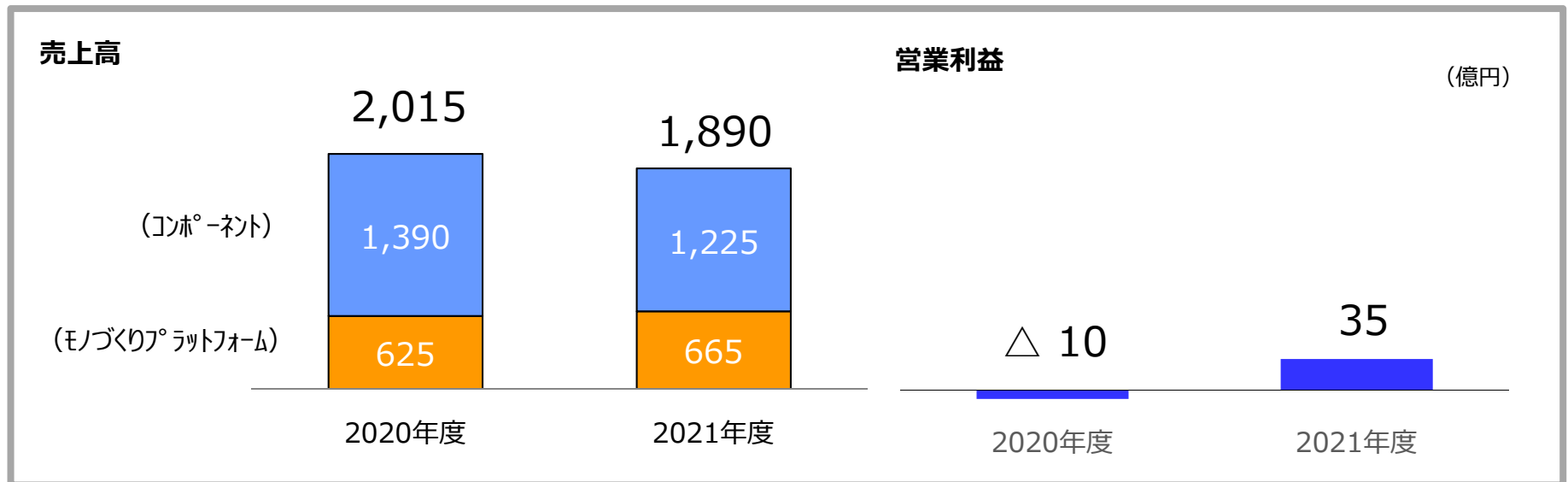
ソリューションシステム事業 概況

- 各サブセグメントとも部材調達影響（131億円減収）と投資抑制の影響を受け不調。（DX領域売上 323億円）
- DX領域も未達ながら売上拡大に向けた動きは着実に進捗。
- 航空機用計器事業 事業譲渡手続き完了。



コンポーネント&プラットフォーム事業 概況

- コンポーネントは部材調達影響（100億円減収）により減収。
- モノづくりプラットフォームも部材調達影響（67億円減収）あるも、好調なFA／半導体製造装置向けで打ち返し、前年比増収。
- コンポーネント&プラットフォーム全体では情報機器事業の固定費削減効果により黒字化を実現。



2021年度 B/Sの概要

- 各資産・負債の構成に大きな変化無、総資産は圧縮。
- 自己資本比率は0.9ポイント減少。

(単位：億円)	22年 3月	21年 3月	前年度末比
流動資産	2,118	2,222	△104
固定資産	1,573	1,494	+79
資産の部	3,692	3,715	△23
流動負債	1,580	1,542	+38
固定負債	1,036	1,058	△22
負債の部	2,615	2,599	+16
自己資本	1,074	1,114	△40
その他	2	3	△1
純資産	1,076	1,116	△40
負債及び純資産合計	3,692	3,715	△23
自己資本比率(%)	29.1	30.0	△0.9
DELシオ(倍)	0.8	0.7	+0.1

2021年度 キャッシュフローの概要

- 営業キャッシュフローはサプライチェーン影響による運転資本増により前年比悪化。

(単位：億円)	21年度 実績	20年度 実績	前年比
I 営業キャッシュフロー	59	174	△115
II 投資キャッシュフロー	△176	△138	△38
フリー・キャッシュフロー(I + II)	△117	36	△153
III 財務キャッシュフロー	17	△89	+106
現金および現金同等物の残高	334	418	△84
固定資産取得額	217	258	△41
減価償却費	126	128	△2

(補足) セグメント別売上高/営業利益 (四半期別推移)

(単位：億円)

売上高	20年度					21年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
ソリューションシステム	396	431	446	635	1,908	339	350	387	550	1,626
コンポーネント&プラットフォーム	416	489	486	624	2,015	459	448	478	505	1,890
その他	2	1	2	1	6	1	1	1	1	4
合計	814	921	934	1,260	3,929	799	799	866	1,057	3,521

営業利益	20年度					21年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
ソリューションシステム	18	22	25	98	163	△1	△1	17	80	95
コンポーネント&プラットフォーム	△16	△21	△6	33	△10	△16	4	43	4	35
その他	0	△1	△1	1	△1	0	1	1	1	3
消去・本社費	△12	△16	△18	△18	△64	△13	△18	△21	△23	△75
合計	△11	△15	0	115	89	△30	△14	40	62	59

2 . 2 0 2 2 年度 通期業績予想

2022年度 通期業績予想

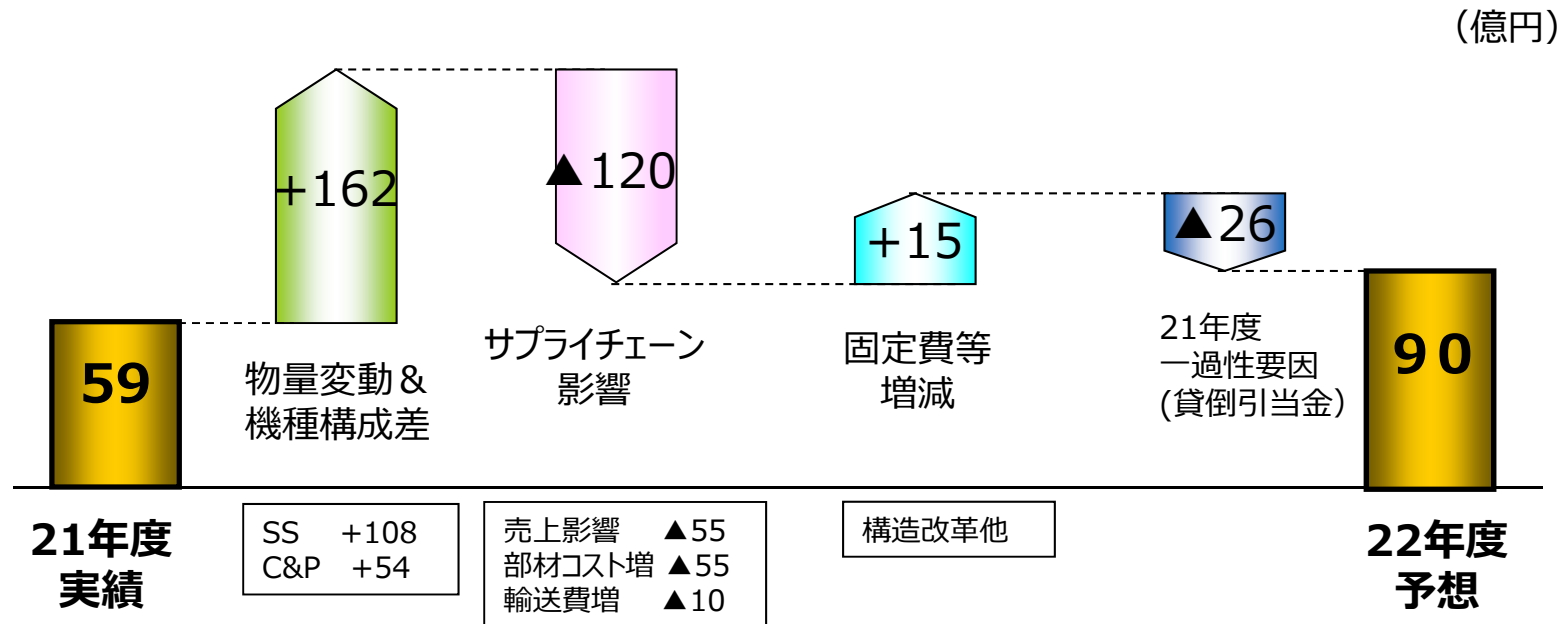
- 中期経営計画2022は未達、単年度計画として修正。
- サプライチェーン影響は今年度も継続する見通し。
- 年間配当金は1株当たり30円を予定。

(単位：億円)	22年度 予想	21年度 実績	前年比
ソリューション 売上高	2,100	1,626	+474
システム 営業利益	140	95	+45
コンポーネント& プラットフォーム 売上高	2,150	1,890	+260
プラットフォーム 営業利益	20	35	△15
その他 売上高	0	4	△4
その他 営業利益	0	3	△3
消去・本社費 営業利益	△70	△75	+5
連結合計 売上高	4,250	3,521	+729
連結合計 営業利益	90	59	+31
連結合計 経常利益	80	77	+3
連結合計 当期純利益	30	21	+9

前提為替レート
 USD：115円
 EUR：130円

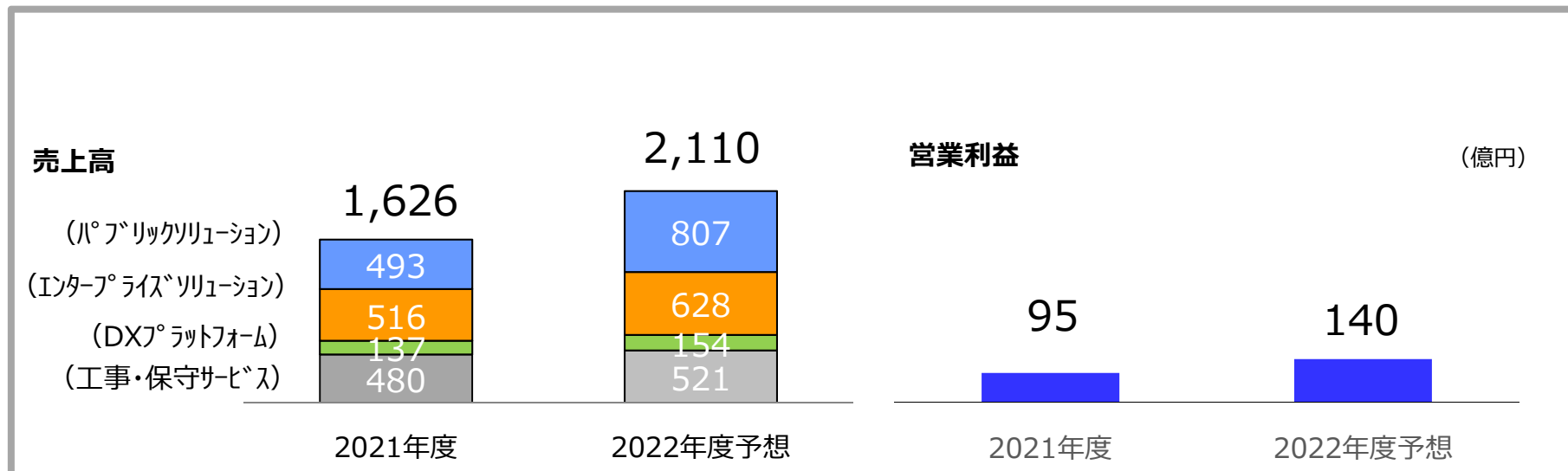
(補足) 2022年度 営業利益の変動要因

- 前年からの延伸分も含め物量増および固定費良化により、サプライチェーン影響および一過性要因の反動減を吸収し、前年比増益の計画。

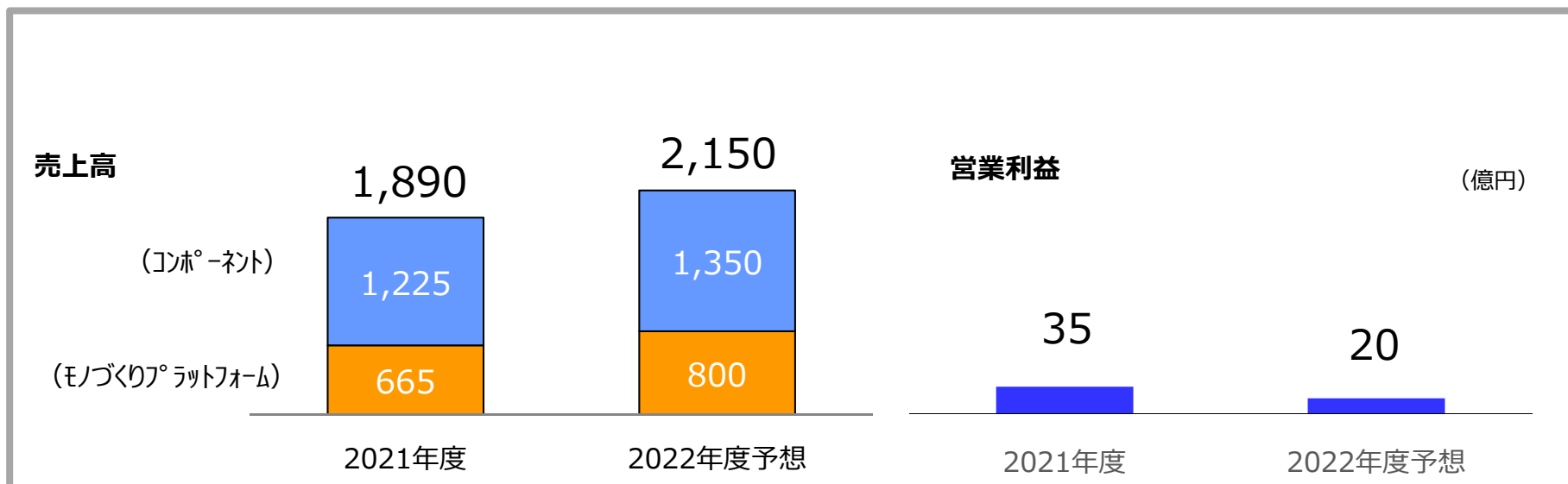


(補足) 事業概況

ソリューションシステム事業



コンポーネント&プラットフォーム事業



(補足) 2022年度 投資およびキャッシュフロー

- 持続的成長のための必要投資は引き続き実施。

投資等 (単位：億円)	22年度 予想	21年度 実績	前年差
設備投資（有形＋無形）	250	223	+27
減価償却費（有形＋無形）	140	115	+25
研究開発投資	120	115	+5

キャッシュフロー (単位：億円)	22年度 予想	21年度 実績	前年差
I 営業キャッシュフロー	220	59	+161
II 投資キャッシュフロー	△240	△176	△64
フリー・キャッシュフロー（I＋II）	△20	△117	+97

3.2022年度 今後の運営方針

中期経営計画2022の進捗

【構造改革】

①事業ポートフォリオの再構築

- 開発体制強化（700人体制）
- プリンター機種絞込みと海外販売拠点合理化

②モノづくり基盤の強化

- 生産子会社統合/再編、海外生産拠点見直し
バーチャルOne Factory推進、スマート工場化

③グループ共通機能のコスト改革

- 調達コスト
- 人件費・経費：シェアード化、オフィス効率化

【成長戦略】

①SS成長戦略

- DX領域の拡大
- 航空機用計器事業獲得

②C&P成長戦略

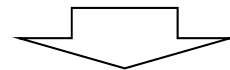
- 新商品創出と市場アクセス力の強化
- モノづくりプラットフォーム事業でのDMS拡大

③イノベーション

- ニューノーマルに向けた新規分野に挑戦

④成長投資：戦略に則った投資実行

中計策定以降の環境変化（コロナ長期化・サプライチェーン問題の常態化）



中期経営計画2022の目標達成が困難な状況

今年度の運営方針と次期中期計画の方向性について

■「中期経営計画2022」策定以降の事業環境の変化と中計の進捗状況を踏まえ、
2022年度は 単年度計画へ

FY2022

「成長への土台作り」の仕上げの年

見直し

優先課題 サプライチェーン影響等の対策強化



優先課題取組みを踏まえたうえで

「成長への土台作り」の継続推進

次期中計の策定

FY2023~

次期中期経営計画

「成長への舵切り」
「環境変化への対応力」

横断型技術・商品・ソリューション創出
(組織の壁を壊す)

海外戦略

マーケティング戦略

技術戦略

ゴール/マイルストーンの明確化

(補足) 各事業の主な製品およびサービス

ソリューションシステム

- **パブリックソリューション**
 - 道路（ETC/VICS）、航空管制、防災、消防
 - 中央官庁業務システム、政府統計システム
 - 防衛システム（水中音響／情報）
 - インフラモニタリング
- **エンタープライズソリューション**
 - キャリアネットワーク、映像配信、5G・ローカル5G
 - 金融営業店システム、事務集中システム
 - 鉄道発券システム、空港チェックインシステム
 - 製造システム（ERP/IoT）
- **DXプラットフォーム(プロダクト／サービス)**
 - AIエッジコンピューター、センサー、IoT NW
 - PBX、ビジネスホン、コンタクトセンター
 - クラウドサービス
- **工事・保守サービス**

コンポーネント&プラットフォーム

- **コンポーネント**
 - ATM, 現金処理機
 - 営業店端末、予約発券端末、チェックイン端末
 - ATM監視・運用サービス
 - LEDプリンター
 - 大判インクジェットプリンター
 - ドットインパクトプリンター
- **モノづくりプラットフォーム**
 - 設計・生産受託サービス
 - プリント配線基板

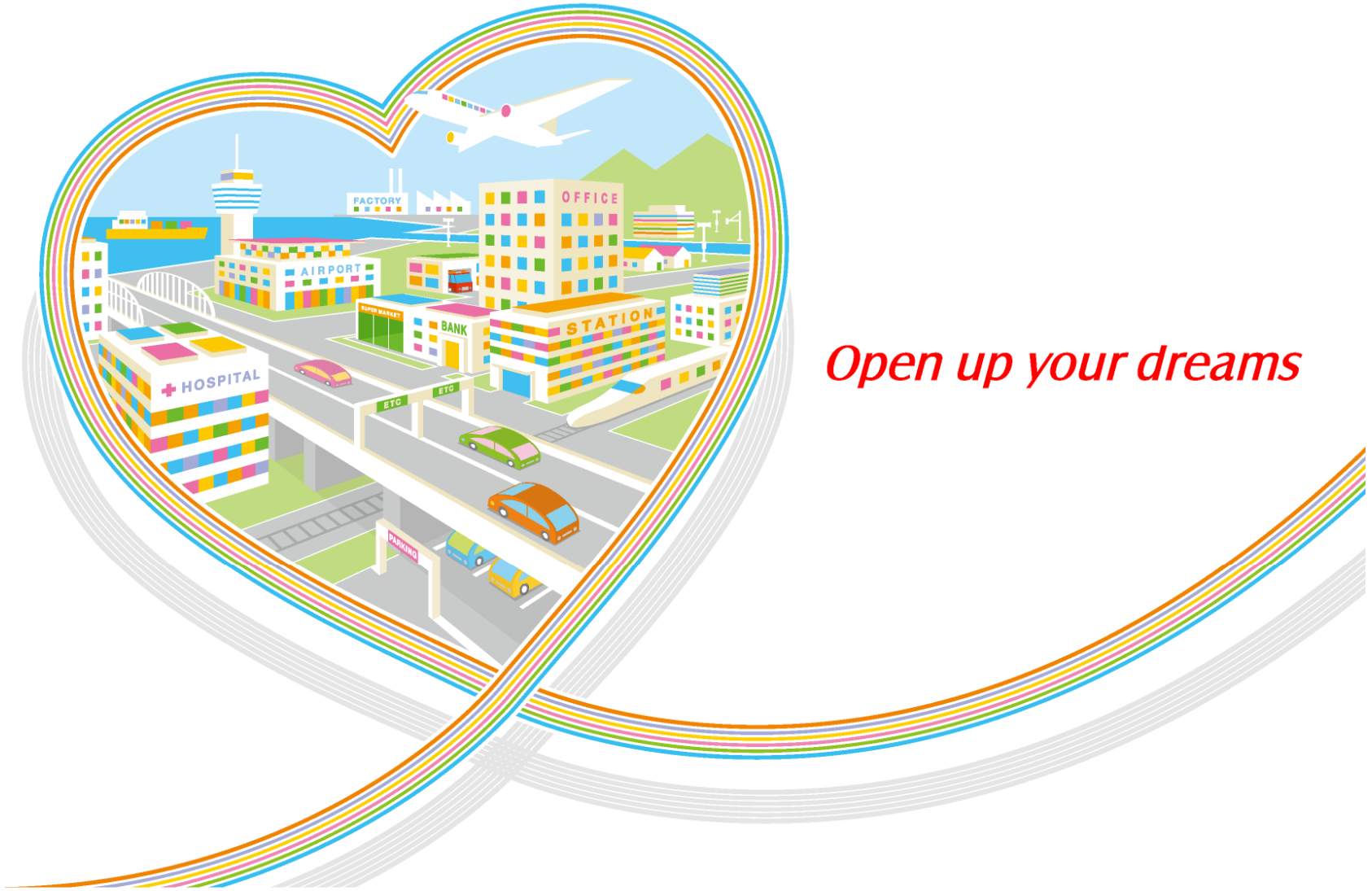
ご注意

※本資料における業績予想および事業計画等は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断される一定の前提に基づいております。したがって実際の業績は様々な要因により、これらと異なる可能性があることをご承知おきください。

※億円単位の数値の表示方法について：

各項目の数値は、それぞれの数値の億円未満を四捨五入して表示しています。

また増減については、億円単位の数値を元に計算しています。



Open up your dreams